

科目名	軟部組織損傷各論						年度	2026		
英語科目名	Soft tissue damage detailed exposition						学期	後期		
学科・学年	柔道整復科 2年次		必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	青木伊之、加藤健太、宮本功三、後藤晃弘、杉本知、秋田雄大、有山教士		教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)		
【科目の目的】 1年次に学習した軟部組織損傷総論を基に、身体各部位における捻挫、打撲、挫傷について部位ごとにより詳細に理解するのがねらいである。身体を頭部・顔面・胸部・背部・顔部・頸部・腰部・肩部・上腕部・肘部・前腕部・手部・手指部、股関節、大腿部、膝部、下腿部、足部に分け、それぞれの部位の軟部組織損傷について概説、発生機序、程度や部位の分類、鑑別や損傷程度を確認する徒手検査法、特異的症状、治療法、固定法、治癒経過、治癒に影響を与える因子、予後、合併症、鑑別診断を要する類症など、部位ごとに詳細に理解する。										
【科目の概要】 部位別の具体的な外傷の成り立ちや施術方法について学ぶ。 この授業では、プリントを用いる。1年次に学んだ軟部組織の基本的な構造と機能、軟部組織損傷の基本的知識を基に、身体各部位について軟部損傷の形式と特徴、好発、発生機序、特異的症状、予後等について理解し、治療、固定について詳細に理解し実技が出来るよう、授業を進める。										
【到達目標】 身体各部位の軟部組織の解剖学的理解を基に、それぞれの部位の損傷の概説、損傷時に加わる力の特徴、損傷の程度、部位などによる分類、損傷の発生機序、鑑別や損傷程度を確認する徒手検査法、症状、治療法、固定法、治癒経過、治癒に影響を与える因子、予後、合併症、鑑別診断を要する類症などについて、部位ごとに詳細に説明できるようになることを到達目標とする。										
【授業の注意点】 医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	軟部組織の機能解剖と損傷発生との因果関係を深く理解している	軟部組織の機能解剖と損傷発生との因果関係を理解している	軟部組織の機能解剖と損傷発生との因果関係が重要だと認識し理解に努めている	軟部組織の機能解剖と損傷発生との因果関係を深く理解していない	軟部組織の機能解剖と損傷の間に因果関係を考えが及ばない					
到達目標 B	軟部組織損傷の発生機序を深く理解し症状との関連を説明できる	軟部組織損傷の発生機序を理解している	軟部組織損傷の発生機序を重要だと認識し理解に努めている	軟部組織損傷の発生機序を理解していない	軟部組織損傷の発生機序と症状の間には関係はないと考えている					
到達目標 C	軟部組織損傷の症状を深く理解し治療法との関連も説明できる	軟部組織損傷の症状を理解し説明できる	軟部組織損傷の症状の理解を重要だと認識し理解に努めている	軟部組織損傷の症状を理解しておらず説明もできない	軟部組織損傷の症状と治療法の間には関係はないと考えている					
到達目標 D	軟部組織損傷の徒手検査法の原理を深く理解し正確に行なう事ができる	軟部組織損傷の徒手検査法の原理を理解している	軟部組織損傷の徒手検査法の種類と方法を認識し理解に努めている	軟部組織損傷の徒手検査法の種類と方法を理解していない	軟部組織損傷の徒手検査法を覚える姿勢がない					
到達目標 E	軟部組織損傷の治療の原理を深く理解し局面毎に計画する事ができる	軟部組織損傷の治療の原理や中身を理解している	軟部組織損傷の治療法の種類と方法を認識し理解に努めている	軟部組織損傷の治療法の種類と方法を理解していない	軟部組織損傷の治療法を覚える姿勢がない					
【教科書】 南江堂柔道整復学・理論編改訂第5版 一社団法人 全国柔道整復学校協会 監修― に準拠する。										
【参考資料】 なし（自身作成のプリントを配布）										
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		軟部組織損傷各論			年度	2026
英語表記		Soft tissue damage detailed exposition			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	手部手指部の変形	手部手指部の変形や拘縮についてきちんと理解しているか	1 マーデルング変形	左記損傷の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える	3	
			2 デュビユイトラン拘縮	左記損傷の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える		
			3 手指部の変形	ヘバーデン結節、ボタン穴変形、スワンネック変形の発生機序特徴、症状、治療等について理解し行える		
2	股関節部の損傷①	股関節部の損傷についてきちんと理解しているか	1 軟部組織由来の疾患	鼠径部痛症候群、梨状筋症候群、弾発股の発生機序、種類、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える	3	
			2 股関節唇損傷	左記損傷の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える		
			3 股関節拘縮	股関節内転位、外転位、屈曲位拘縮の発生機序、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える		
3	股関節部の損傷②	股関節部の損傷についてきちんと理解しているか	1 大腿骨頭由来の疾患①	大腿骨頭すべり症、大腿骨頭壊死症の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える	3	
			2 大腿骨頭由来の疾患②	ベルテス病、単純性股関節炎の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える		
			3 大腿骨頭由来の疾患③	変形性股関節症の発生機序、種類、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える		
4	大腿部の損傷	大腿部の損傷についてきちんと理解しているか	1 大腿部打撲	左記損傷の発生機序、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える	3	
			2 大腿部肉離れ	左記損傷の発生機序、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える		
			3 大腿部骨化性筋炎	左記損傷の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える		
5	発育期の膝関節障害①	発育期の膝関節障害についてきちんと理解しているか	1 膝の変形	反張膝、内反膝、外反膝の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える	3	
			2 プラント病	左記損傷の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える		
			3 大腿四頭筋拘縮症	左記損傷の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える		
6	発育期の膝関節障害②	発育期の膝関節障害についてきちんと理解しているか	1 膝の離断性骨軟骨炎	左記損傷の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える	3	
			2 膝伸展機構の破綻①	オスグッドシュラッター病、シンディングラーセンヨハンソン病の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える		
			3 膝伸展機構の破綻②	ジャンパー膝、有痛性分裂膝蓋骨の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える		
7	膝部の損傷①	膝部の損傷についてきちんと理解しているか	1 膝半月板損傷	左記損傷の発生機序、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える	3	
			2 膝側副靭帯損傷	左記損傷の発生機序、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える		
			3 膝十字靭帯損傷	左記損傷の発生機序、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える		
8	振り返り①	ここまで学んだ知識、技術を正しく理解し行えるか	1 前腕、手関節部の損傷、変形	手関節部の損傷、変形の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える	3	
			2 股関節部の損傷	股関節部の損傷の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える		
			3 膝部の損傷	ここまで学んだ膝部の損傷の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える		
9	膝部の損傷②	膝部の損傷についてきちんと理解しているか	1 腱損傷	腸靭帯炎、鷲足炎の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える	3	
			2 膝蓋骨損傷	膝蓋間軟骨化症、膝蓋大腿関節症の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える		
			3 タナ障害	左記損傷の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える		
10	膝部の損傷③	膝部の損傷についてきちんと理解しているか	1 関節包、滑液包の損傷	左記損傷の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える	3	
			2 末梢神経麻痺	総腓骨神経麻痺、伏在神経麻痺の発生機序、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える		
			3 変形性膝関節症	左記損傷の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える		
11	下腿部の損傷	下腿部の損傷についてきちんと理解しているか	1 下腿コンパートメント症候群	左記損傷の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える	3	
			2 筋、腱損傷	アキレス腱断裂、シンスプリント、腓骨筋腱脱臼、下腿三頭筋損傷の発生機序、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える		
			3 末梢神経麻痺	脛骨神経麻痺の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える		
12	足部の損傷①	足部の損傷についてきちんと理解しているか	1 捻挫	距腿関節、遠位脛腓関節、ショパール関節、リスフラン関節の損傷、二分靭帯損傷の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える	3	
			2 足根洞症候群	左記損傷の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える		
			3 衝突性外骨腫	左記損傷の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える		
13	足部の損傷②	足部の損傷についてきちんと理解しているか	1 足部の変形	尖足、踵足、扁平足の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える	3	
			2 足趾の変形	外反母趾、ハンマー趾、強剛母指の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える		
			3 足部の骨端症	セーバー病、第1ケラー病、第2ケラー病の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える		
14	振り返り②	ここまで学んだ知識、技術を正しく理解し行えるか	1 膝部の損傷	膝関節部の損傷の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える	3	
			2 下腿部の損傷	下腿部の損傷の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える		
			3 足部の損傷	ここまで学んだ足部の損傷の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える		
15	足部の損傷③	足部の損傷についてきちんと理解しているか	1 種子骨、過剰骨障害	種子骨障害、有痛性外脛骨、有痛性三角骨障害の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える	3	
			2 末梢神経障害	足根管症候群、モートン病の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える		
			3 軟部組織由来の疾患	足底腱膜炎、踵骨アキレス腱間滑液包炎の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等